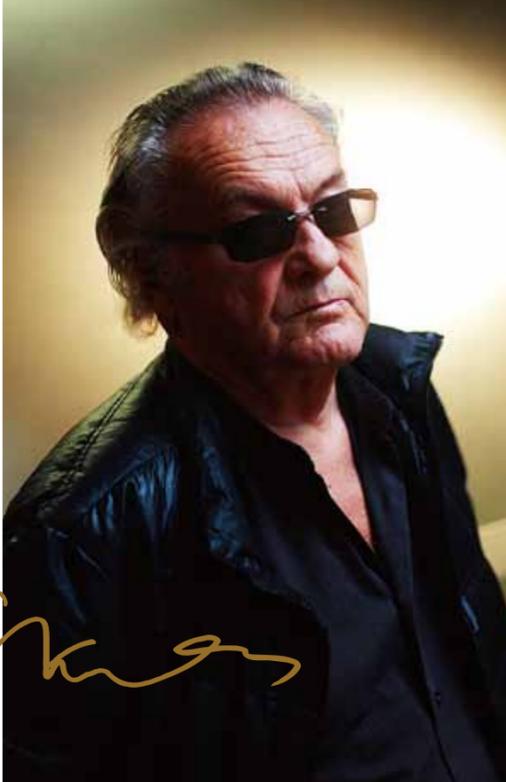


イエジー・スコリモフスキ監督(監修)から日本の皆さまへ

1999年に初めて日本を訪れて以来、私は別人に生まれ変わったと言っても過言ではありません。民族的、情緒的、倫理的、文化的な側面で、また食の嗜好でも、私は日本から多大な影響を受けました。建築、絵画、書だけでなく、日常にみられる日本独自の美と平衡感覚は、私自身の作品にも大きな影響を与えました。

また、幸運にも日本では多くの良き友人と巡り合いました。日本の皆様は私の映画を理解してくださる最高の観客です。皆様の映画に関する深い知識、審美眼、情熱には感銘を受けました。今回、ポーランド映画祭を監修するにあたり、日本の観客のみなさんに心からの感謝を申し上げます。日本の友人たちと入念な選考を行なって選んだラインナップは、全て自信をもっておすすめする作品ばかりです。ぜひ劇場にてお楽しみ頂けたら幸いです。

イエジー・スコリモフスキ



## ♪11月ポーランド映画音楽月間♪

### Poland X Jazz Vol.1

#### マルチン・ヴァシレフスキトリオ



©Marcin Wasilewski Trio, photo by Tomek Sikora (ECM)

マルチン・ヴァシレフスキトリオ——マルチン・ヴァシレフスキ(ピアノ)、ミハウ・ミシキェヴィチ(ドラム)、スワヴォミル・クルキェヴィチ(ダブル・バス)は、世界中のジャズ・フェスティバルやコンペで、多くの賞を受けている3人トリオ。ECMレーベルより「1月(ジャンプ)」[「フェイスフル」]のアルバムを発売している。「フェイスフル」でトリオはポーランド・ジャズ・フォーラムの読者アンケートにおいて、最優秀アコースティック・ジャズ・グループのタイトルを獲得した。尚、当日はアルバムよりクシシュトフ・コメダの楽曲も演奏予定。www.marcin-wasilewski.com

お問合せ :Song X JAZZ tel.03-6314-6829 www.songxjazz.com

### ポーランド放送室内合奏団 映画音楽の巨匠〜キラル&カチュマレク〜

11月29日(木) 19:00開場 19:30開演  
会場:トッパンホール

映画音楽の巨匠〜キラル&カチュマレク〜——ポーランドが生んだ映画音楽の巨匠、ヴォイツェフ・キラル 80歳を記念して、キラルの楽曲を中心にヤン・A・P・カチュマレクの作品も演奏予定。キラルの代表曲である「戦場のピアニスト」のテーマ曲を生演奏で聞ける機会はこちらだけでもありません。ぜひお聴き逃しなく。

### ポーランド放送室内合奏団 公演スケジュール

11月27日(火) 横浜みなとみらいホール  
11月28日(水) 東京オペラシティ



©Katarzyna Ziobor

ポーランド放送室内合奏団——ポーランド放送室内合奏団はアグニエシュカ・ドゥチマルによって1968年にポズナンに設立され、1977年にポーランド放送所属の室内オーケストラとなった。これまでに約8000分にも及ぶ録音を残しており、バロックから現代音楽に至る幅広いレパートリーによるコンサートが数百回にわたり放送されている。ヨーロッパ各国をはじめ、北米、南米、アジアなど、世界各地で演奏を行っている。

ポーランド放送室内合奏団の公演に関するお問合せ：アスペン Tel.03-5467-00801 www.aspen.jp

### 11月中旬より diskunion にて “ポーランド映画とジャズ”をテーマとした 新品CD特集を開催予定!

ポーランド・ジャズの第一人者オラシオ氏監修のもと、ポーランドのジャズ&映画音楽の伝説的作曲家クシシュトフ・コメダのものを中心に、ジャズとサントラの両方で活躍する音楽家たちの両サイドの作品をご紹介します。  
対象店舗 ■diskunionJazzTOKYO(御茶ノ水)  
■ディスクユニオン吉祥寺ジャズ&クラシック館

### 11月中旬より TOWER RECORDS 新宿店にて ジャズコーナーを展開予定!

### ポーランドポスター展'50'-'60

11月3日(土・祝)–12月3日(月)  
開館時間11:00–19:00  
会場:ヨコハマ創造都市センター



戦後の荒廃したポーランドに、一筋の光明のように花開いたポスター文化。街角に貼られた演劇、映画、音楽などの想像力豊かでエネルギーにあふれるポスターは市民を励まし、勇気と希望を与えました。世界で初めてのポスター美術館ポーランド・ヴィラスポスター美術館所蔵のポスター約150点を一挙公開。

【お問合せ】  
ポーランドポスター展  
実行委員会事務局  
Tel.045-224-4775  
www.polandposter.jp

# ポーランド映画祭2012 POLAND FILM FESTIVAL 2012

## 11月24日(土)–12月7日(金) 2週間限定開催

### イエジー・スコリモフスキ監督来場(予定)!

2日目の11月25日(日) 映画祭開催の挨拶、ムンク監督作品、ボランスキー監督作品の解説トークも予定しております。映画ファンの皆様、この機会を逃さず是非劇場へ。

11月24日[土]	11:00 尼僧ヨアンナ	13:30 エロイカ	16:00 夏の終りの日	18:30 夜行列車
11月25日[日]	11:00 バリエラ	13:00 映画祭開幕挨拶 イクシアナ【ジャパンプレミア】 ★—ティーチイン予定	16:00 鉄路の男 ★—解説トーク予定	18:30 水の中のナイフ ★—解説トーク予定
11月26日[月]	11:00 影	13:30 夜の終りに	16:00 夜行列車	18:30 列車の中の人々
11月27日[火]	11:00 沈黙の声	13:00 さよなら、また明日	16:00 パサジェルカ	18:30 灰とダイヤモンド
11月28日[水]	11:00 サラゴサの写本	14:30 愛される方法	16:30 戦争の真の終り	18:30 ポリティカル・ドレス
11月29日[木]	11:00 さよなら、また明日	13:30 不運	16:00 沈黙の声	18:30 ピーツ・オブ・フリーダム
11月30日[金]	11:00 愛される方法	13:30 パサジェルカ	15:30 夏の終りの日	19:00 “ジャザ・プレイズ・ポランスキー”
12月 1日[土]	11:00 灰とダイヤモンド	13:30 夜の終りに	15:30 エロイカ	19:00 “ジャザ・プレイズ・スタレヴィッチ”
12月 2日[日]	11:00 列車の中の人々	13:00 沈黙の声	15:30 不運	19:00 “ジャザ・プレイズ・ポランスキー”
12月 3日[月]	11:00 エロイカ	13:30 鉄路の男	15:30 サラゴサの写本	19:00 バリエラ
12月 4日[火]	11:00 バリエラ	13:30 水の中のナイフ	16:00 夜の終りに	18:30 夏の終りの日
12月 5日[水]	11:00 影	13:30 灰とダイヤモンド	16:00 愛される方法	18:30 地下水道
12月 6日[木]	11:00 夜行列車	13:30 尼僧ヨアンナ	16:00 地下水道	18:30 水の中のナイフ
12月 7日[金]	11:00 戦争の真の終り	13:30 不運	16:00 さよなら、また明日	18:30 鉄路の男

### 11月25日[日] 舞台挨拶、トークショー(予定)

『イクシアナ』上映前—— 開幕舞台挨拶 登壇:イエジー・スコリモフスキ監督/ツィリル・コザチュフスキ駐日ポーランド大使/ミハウ・スコリモフスキ監督(予定)  
『イクシアナ』上映後—— ミハウ・スコリモフスキ監督(『イクシアナ』共同監督)のティーチイン舞台挨拶(予定)  
『鉄路の男』上映後—— イエジー・スコリモフスキ監督による解説トーク(予定)  
『水の中のナイフ』上映後— イエジー・スコリモフスキ監督による解説トーク(予定)

### 10月20日(土)より発売!!

○何回でも見られるフリーパス ¥8,000! 劇場窓口のみ発売  
【超豪華特典】先着50名様は「アンナと過ごした4日間」か「エッセンシャル・キング」のどちらか Blu-ray (¥6,090相当)を1本プレゼント! \*特典は無くなり次第終了となりますのでご了承ください。

○前売券 ¥1,200 \*通常の前売券になりますので、上映作品1本が御覧になれます。  
○当日一般¥1,500/学生¥1,300/シニア・会員¥1,000



TEL.03-5766-0114 | www.imageforum.co.jp

渋谷駅より徒歩8分 宮益坂上あり、次の信号スターバックスコーヒー右手入る  
[シアター・イメージフォーラム会員割引のご案内]年会費2,000円で1年間どの映画も1,000円で観られる! 1年延長の更新料は1,000円。\*窓口にて申込頂けます。



監修: イエジー・スコリモフスキ

# ポーランド映画祭2012



# POLAND FILM FESTIVAL 2012

www.polandfilmfes2012.com



### 世界の映画人を驚かせた 戦後ポーランド映画の傑作群をあなたに

主催: ポーランド広報文化センター 共催: マーメイドフィルム/VALERIA/スコピャフィルム  
協力: フィルムスタジオカドル/アダム・ミツキェヴィチ・インスティテュート/東京国立近代美術館フィルムセンター  
後援: 駐日ポーランド大使館 配給: マーメイドフィルム 宣伝: VALERIA 配給協力: (社)コミュニケーションセンター  
第25回東京国際映画祭提携企画

